

第24期第10回（平成30年度第3回）公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成30年7月19日（木） 午後2時～4時
開催場所	中央公民館・視聴覚室
委員	（出席者）11人 （欠席者）0人
職員	尾又中央公民館長、富田中央公民館事業係長（記録）、北野南街公民館長、佐野狭山公民館長、三宅蔵敷公民館長、蓑田上北台公民館長
傍聴者	0人
会議次第	1 報告事項 （1）第55回東京都公民館研究大会について （2）第31回五館合同交流会について 2 審議事項 答申起草委員中間報告について
配布資料	（全委員に事前配布） ・答申書 （全委員に当日配布） ・第24期第9回（平成30年度第2回）公民館運営審議会 会議録 ・東京都公民館連絡協議会委員部会 第1回研修会 など
開会前事務局	本日の会議資料の確認をさせていただきます。 本日の会議資料は、事前に送付いたしました「答申書」でございます。 また、お手元の封筒が本日の追加資料でございます。 なお、回覧資料といたしまして、「都公連委員部会 第1回、第2回、第3回定例会」の当日に配布された資料を回覧しておりますので、あわせてご確認をお願いいたします。 事務局からのご連絡は以上でございます。
会議の要旨	
委員	それでは、報告事項「第55回東京都公民館研究大会について」、尾又中央公民館長、説明をお願いします。
尾又館長	<p>お暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。「第55回東京都公民館研究大会について」今行っております企画委員会の途中経過についてご報告いたします。7月3日に第2回の企画委員会を実施いたしました。東大和市が事務局ですので東大和市で行いました。各市からお集まりいただきまして、まず大会のメインテーマを決めさせていただきました。メインテーマにつきましては「どうなる？どうする？社会教育～連携・協働・参加の成果を発信しよう～」に決めさせていただきました。開催趣旨につきましては、事務局が案を作成しまして次回の企画委員会に提示し、適宜修正させていただくこととなります。</p> <p>各課題別集会についてもご報告をいただきました。委員部会につきましては、前回委員に少しお話ししていただきましたが、メインテーマも決まりました。委員部会の課題別集会のテーマが「公民館講座受講後の展開、循環型学習をするには」です。内容としては、自主グループ化を促すけれど中々話がまとまらなくて、そのまま終わってしまう事が多いという事で、色んな成功例を挙げて、こういった要因で成功したか、あるいはどういう事で活動が続いているのか、という事を洗い出して研究し自主グループを育てる事に繋げるような課題別集会として取り組みたいという事です。講座などを通してリーダー育成が上手くできた成功例や公民館講座から生まれ自主グループとして地域に貢献している活動例などを研究題材としたいという事でした。</p> <p>二つ目の課題別集会としましては、職員部会から報告がありました。「コミュニケーション 公民館活動の活性化 人と人とのつながり リーダー養成など」という事です。助言、報告者はまだ決まっていないという事です。次に、福生市ですが2案検討しているという事で、1つは公民館サークルの</p>

	<p>地域貢献について、仕組みやルールを議論。もう1つはリーダー養成ということでした。西東京市さんのテーマが地域づくり事業の実施、多摩コンファレンスということで、具体的にアクティブラーニング、研修の意識、3つの島を作りグループワークをする、各グループに発表してもらい、全体で情報を共有するという事です。助言者として高井さんと書いてあります。ゲストとして杉並区の社会教育主事齊藤さんという方です。こちらにつきまして各職員部会、委員部会、福生市さん、西東京市さんの方で詳しく検討して、次回8月8日の企画委員会で練っていく予定になっております。その他に全体会の基調講演ですとか、メインテーマの開催主旨についても、メールなどでご相談しながら決めていきたいと思っております。実際に東京都の教育委員会の後援ですとか色々ございますので、7月29日位までには、概ねのところは決定させていただいて、その後原稿づくりに入っていきますので9月の公運審の時には、仮題ではありますが書面でご報告出来ると思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
委員	<p>説明が終わりました。 ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
	「質疑・応答なし」
委員	つづきまして、報告事項「第31回五館合同交流会について」、委員、説明をお願いします。
委員	<p>1回目の五館合同交流会に参加してきました。委員と委員もいました。なぜここに入れてもらったかということ、50周年の周年行事に向けて、5館で一緒に取り組んで行けたら良いなというところがあって、議題は盛りだくさんではあったんですけど、最後のほうに50周年のお話をさせていただきました。次回は実行委員を募った後の開催になるので、なかなか五館合同交流会の中で実行委員を募る所までもって行く事は出来ないんですけど、話題にさせていただいた事では、次回の2月頃の開催の時には議題に入れていただく事になりました。ここから盛り上げていけたらいいなと思っています。五館合同交流会の内容については、各公民館の活動報告、活動計画などを、総会資料や各館で持ってきた資料をもとに報告がありました。役員を選出方法や研修旅行の情報交換をしました。各館の総会資料を用意するとより良いのではないかという意見があり、次回からはそのようにするのではないかと思います。</p> <p>参加されたお二方からもなにかありましたらお願いします。</p>
委員	<p>補足します。議題の1番として利用者連絡会について、ということで、具体的には各館の会費、加入率。例えば、南街の場合は年500円、加入率は53.6パーセント。だいたい加入率はこんな程度なんですけど、会費の方は500円とか300円とか各公民館で違っているようです。</p> <p>また、利用者連絡会活性化の工夫、ということで各館から報告がありました。南街としては活動計画の着実な実施、欠員役員の選出、公民館まつりでは公民館、児童館等多くのメンバーの方に参加いただいて、ふれあいの中で親睦に努めることです。</p> <p>その他の議題としては、50周年事業を進める。リニューアルした市報・だよりも目を通したい。デジタルアーカイブを理解する。都公連研究大会は来年の2月、という話がありました。</p> <p>2番目としては、今年度の活動計画ということで、各5館が順番に話しをしました。以上です。</p>
委員	委員は総括的にお話をいただいて、特に50周年記念事業に関してのアイデア等を皆さんいかがですかという事を言っていただいて、大変有意義だったと思います。委員がおっしゃっていただいたのは、私も同じなんですけど、利用連の役員のなり手がいない、もう一つはサークルの加入が若干少ないと、そんな事が話合われました。利用連の役員を輪番制にするとか、強制的

	にするとか、色んな意見が出たんですけど、私個人的な意見ですが、強いてサークルの利用率を上げる必要は無いんじゃないかと。それよりも現役員が、こんなメリットがあるんだよ、こんな楽しみがある、みんなと触れ合いが出来るんだというような模範を示して、活動していくのが良いのではないかとお話しをさせていただきました。以上です。
委員	説明が終わりました。 ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。
	「質疑・応答なし」
委員	では次の、審議事項に進ませていただきます。 審議事項「答申起草委員中間報告について」を議題といたします。 説明をいたします。
委員	<p>答申書の内容に入る前に、40周年の記念誌がどんな内容であったか振り返りながら、今回の50周年をどんな風に準備していったら良いか、話を進めていこうと考えています。40周年記念誌、お手元にありますでしょうか。表紙に「地域・ひと・絆」というタイトルになっています。これがテーマです。答申が後ろに載っています。133ページをお開きください。まず、諮問があり、134ページからが答申で、135ページから答申書です。項目だけ振り返りたいんですが、1番最初は、「はじめに」。こういう考えで答申書を作りましたということです。具体的にⅡ記念事業計画として、イベントの開催、開会式、前夜祭、式典と記念講演等、作品展示、その他記念事業、閉会式、翌年の3月に閉会式を行っています。次に開会式の前夜祭や式典、記念講演、作品展示についての内容が書かれています。その他の記念事業については、こんなコーナーを設ける、スタンプラリーを行う、そして閉会式については「公民館のつどい」を開催と同時に宣言を行うということになっていました。</p> <p>そして記念誌の発行ですが、大きな事業として40周年の時も作られたものです。記念誌については、137ページの上にあるように、(1)記念誌の体裁はA4判とし、写真やイラストを多めにして分かりやすさに重点をおく。(2)それまでの10年間の公民館としての活動を振り返りまとめるということで、40周年の時は30周年まで、その後の10年間となります。ですから、40周年の記念誌の後、これから50周年を迎えるまでの10年間の記録をまとめることとなります。</p> <p>3.映像記録の作成とありますように、40周年の時も記録映像として残す事は大事だということで、この事をきちんと残していこうという答申ではありました。その時の映像がどれほど残っているかというのは、やや心配な面もあるんですが、ビデオテープとして残されているものがあるという事です。</p> <p>Ⅲおわりに、記念事業はこんなふうにして行いたい、という事でした。さて、こうして行われた開館40周年です。皆様40周年の記念誌を読まれたかと思いますが、50周年の答申の前に改めて見ていただいています。</p> <p>1ページ目は「公民館開館40周年宣言」としてここに掲げています。これは公民館開館40周年記念事業実行委員会が作ったものです。ですから今後50周年に向けて実行委員会を立ち上げて、その中で宣言を作っていく運びになるかと思えます。3ページからが目次です。宣言がありまして、実行委員長、市長、教育長、公運審会長、中央公民館長それぞれのあいさつ。その後40周年記念事業、公民館主催事業、市民と公民館、公民館とグループ活動。グループ活動については各項目に「グループ活動この10年」というので、中央から上北台まであります。利用者連絡会、実習室懇談会、保育室、審議会、ひとことメッセージ、資料となっています。</p> <p>中身をみていきますと、あいさつがありまして、7ページ40周年記念事</p>

業として「少年少女合唱団」の演奏会と「ペタペタアート」の写真があります。8ページからが開会式、講演会、スタンプラリーについて書かれています。それから、実行委員からのメッセージ。10, 11ページは、それぞれの事業に対して寄せていただいたものです。12ページは「3.11東日本大震災」のことで講演をしていただいた内容が書かれています。記念講演をどなたにお願いするかも今後決めていきます。17ページからが「公民館主催事業」で、それぞれの公民館がどんな活動をして来たかを述べているページです。平成14年度から23年度までの振り返りが載っています。24ページからは、「若者と公民館」というタイトルで、若者たちがどんな風に公民館を使って活躍していたのか、26ページ「成人と公民館」、36ページ「高齢者と公民館」どんな活動がそれまでにあったのでしょうか。39ページ「市民と公民館」、40ページ「公民館のつどい」、42ページから各館の「公民館まつり」の事が書かれています。どのページも表が載っていますが30周年を終えた後の10年間の記録になっています。52ページ「公民館まつり」のアンケートの中から載せています。「新春コンサート」「人形村のなかまたち」「映画会」。55ページからは「公民館とグループ活動」公民館を利用しているグループがどんなだったかというので各館載っています。73ページから「利用者連絡会」のことが載せてあります。「実習室懇談会」「保育室」。81ページが「公民館運営審議会」、89ページ「公民館に寄せる～私の思い&ひとことメッセージ～」記念事業として、皆さん公民館にどんな思いがありますかというのを、各方面の方々にお願いして書いてもらったものを載せてあります。97ページ「公民館関係資料」「公民館だより」「当初予算の推移」「公民館利用状況」、102ページ「公民館施設案内」ここら辺の内容が今度の答申に載せているリーフレット、手軽に身近に市民の皆様の手元に届く「5館公民館のダイジェスト版」、ここでは記念誌の中に載せてありますが、そういうものを作るのがいいのではないかなと思います。104ページ「人口・世帯の推移」そのあと、「社会教育史年表」、111ページの真ん中辺りに「昭和46年6月、初の公民館開館」と書いてあるのが、南街公民館です。121ページ、昭和49年に教育庁社会教育部が出した資料「新しい公民館像をめざして」が載せてあります。最後に「諮問」「答申書」こういう内容になっております。

これから、実行委員会を続けて記念誌の内容、誰に原稿をお願いするか等、レイアウトも含めて組み立てていく予想が付いたかと思えます。

事前配布資料「答申書」をご覧ください。

前回の公運審の後、起草委員会を開きまして、新たに加えるところ削るところというのをまとめました。50周年に向けての「答申書」として作っております。

では、一通り目を通します。

「答申書」

「I はじめに」というところですが、読み上げます。

「公民館は、多くの市民のために教育、芸術及び文化に関する各種の事業を行うことで教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的としています。

東大和市の公民館が、長年にわたって積み重ねてきた実践や研究を活用しながら、現在の地域の課題解決や住民の学習意欲の向上と内容の充実を図っていく事が大切です。

開館50周年の節目を迎え、これまでの実績を基盤に社会教育機関としての公民館の役割の原点『自由につどい、自主的に学び、文化を創造していくという民主主義社会における住民の権利を具体的に保障していくことである。』を市民と職員とで改めて確認し合う機会とします。

さらに、これからの公民館活動等に反映させていくことや活動内容の充実

	<p>と発展をする始点として実施する記念事業を次のとおり答申します。」 新たなスタートです、という決意的なことです。 さて、実際の記念事業計画です。 「公民館50周年記念事業の実施にあたり、テーマを「地域・ひととのつながりを一層高めるための公民館」とします。」この辺りもご意見下さい。起草委員会として提案とします。「年間を通じて行う事業については、特に子供や若者などの参加、少子高齢化対応、魅力あふれる講演会を重視していきたい。」これが最終的です。 で、どのような事を起草委員会で考えているかというと、1番のオープニングイベント(1)前夜祭 開会式に向けての雰囲気づくりにもなることから、参加した誰もが楽しめるような内容で検討をお願いしたい。ここからの文の形ですが、実行委員会に対して、こんな風をお願いしたいんですけどご理解をして下さい、という文末になっていますのでご理解下さい。 (2)開会式<2021年6月>①式典 来賓の挨拶後、公民館を利用する活動グループ等と市内の幼児・児童・生徒に演技・演奏等お願いしたい。40周年の時に東大和の少年少女合唱団が合唱を披露してくれていますので、そのようなイメージがよろしいかと思えます。②記念講演 市民生活に密接する公民館に関連したテーマによる講演会としたい。起草委員会では、東大和市の公民館が行う事業ですので、そういうものに関連したテーマであってほしいかと思えます。(3)作品展示 公民館5館を利用するグループ全体の活動を展示する内容としたい。会場は中央公民館になるんですが、5館それぞれを利用するグループの作品展示と考えています。(4)市民参加型事業 テーマに添って、市民が参加できるイベント(「ペタペタアート」「50周年記念オブジェ」)等の作成、市内公民館を回る「スタンプラリー」等の検討をお願いしたい。なお、以上の事業は2021年6月の予定ですが、隔年実施の「中央公民館まつり」との日程調整を図ることとします。先日の五館合同交流会で話をしてもらった理由の一つになるんですが、隔年に行っている「中央公民館まつり」が丁度50周年の2021年にあります。40周年の時もそうだったんです。同じ日に重なってもいいのか、またはずらすか、これを調整しますという事を書いてあります。(5)閉会式<2022年3月>1年間のさまざまな活動をふりかえり、60周年に向けての決意を込めて作成した「50周年宣言」を発表することとしたい。</p>
委員	ここまででご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。
委員	オープニングイベントの前夜祭に関して、40周年の時は前夜祭をどういう形で進めていったのか、今後どのように進めていけばいいのか具体的に詳しい方からお話を伺いたいたいです。
尾又館長	答申はしていますが、実際に実行委員会では取り組んでいません。
委員	ここには書いてあるんですが、前は私の記憶では、やらなかったと思います。今回起草委員会では載せていますが、具体的には実行委員会で決めることになります。
委員	わかりました。前夜祭というと難しい感じがするので、どういう形で取り組んでいくのか、起草委員会では検討する話はでなかったのか具体的にどうすべきか考えがあればと思います。
委員	そんなに難しく考えないで、皆で合唱するとか、ダンスをするとか、ホールで楽しめればいいんじゃないでしょうか。
委員	40周年のときも良い答申で、さらに50周年に向けてはすっきりした良い答申に近づいて来ているかなと思います。記念事業計画の中で、テーマを「地域・ひととのつながりを一層高めるための公民館」とされているんですが、起草委員会の中でどんな経緯でこのテーマになったんでしょうか。参考の為にお話しいただければと思います。
委員	基本的には、40周年を踏襲するというのが起草委員会での皆の意見で

	す。50周年はこのように書きましたが、仮のテーマなんです。具体的には実行委員会の中で確定すると思います。
委員	今の状況は、わかりました。
委員	<p>他にご意見ございますか。(質疑なし) では、先に進めます。</p> <p>2. 地域力の向上 市民の誰もが住みやすい心豊かなまちづくりのために、次の2点についての検討をお願いしたい。(1)『ご当地グルメ研究会』～東大和市の食を考える～多世代が集って公民館で座談会を行い、東大和でしか味わえない「ご当地グルメ」は何かを話し合い、それらを市民や他の地域に広める方法を考えることは、観光ポイントのひとつになる。市民が知恵を出し合って「食」を考えながら「地域・ひと」とのつながりを深めることによって、公民館が目的としているまちづくりにつながると考えます。</p> <p>(2)『学習座談会』～中学生、高校生、青年たちが求める居場所とは？～東大和市では、中学生、高校生、青年たちが安心して集える場所が不足していることが長年の地域課題の一つです。「三多摩テーゼ」の提言にある「公民館は住民の自由なたまり場」という役割を担っている公民館を利用する市民が少ない。特に、次世代を担う中高生や青年にとっての「居場所づくり」のために、どのような方策があるのかをテーマとした「学習座談会」を開いて、中高生や青年たちから意見を聞く機会を設けたい。豊かなまちづくりのために検討していただきたいというのがあります。</p> <p>こちらについて、ご意見ありましたらお願い致します。</p>
委員	(2)の「学習座談会」というのは、イベントの中で当日やるのと別として機会を作ってやるということではよろしいですか？子ども達が集って自由な発想で公民館を使うのであればもっと来やすくなるかと思うんですが、部活が忙しいので中々どうかなと。あと、「ご当地グルメ研究会」はコンテスト的なことをやると面白いかなと、イベントや前夜祭でコンテストの大会をやるなど。
委員	中高生の事については、親としてもですが、子どもたちが安心して行ける場所が東大和にはなくて、他の市ですと児童館が毎週金曜日だけ中高生用に夜間20時まで開館しているところがあります。東大和ではそういう取り組みが出来ていないんじゃないかと思います。大人が考える居場所と子どもが思っている居場所も違うのではないかという事もあり、無料で夜間まで使えるところというのが公民館ですが、中高生たちの参加しているのは、まだまだ開けていないので、東大和の子どもたちが求めているものを、この座談会で聞けるといいのかなと思います。具体的にどういう風にやるのかはまだなんですけど、そんな事を考えて行けるきっかけになる座談会が出来たらなと思っています。
委員	非常に良いと思います。どういう子たちが来るか分からないんですけど、多くの子たちは部活だったり、塾行ったり多分、居場所はそういう形で時間を取られていると思います。そういう所に納まらない子達が面倒みてもらえるような居場所が必要なんだろうなと思います。そういう子たちが、入ってくるのかどうかそこが難しいところだという気がしています。
委員	<p>皆の声を聞けるような工夫はしたいなと思っています。</p> <p>「ご当地グルメ研究会」についてですが、答申を考えた時にすごく時間がかかったところでは、うまかんべえもコンテスト的に開かれているんですけど、公民館でもやるという意見も出ていました。ただ食を考えた時にうまかんべえやお店でも商品は出来ているんだけど、それを広めていく手立てとか、もっと東大和を有名にするための方法については、どこも話し合いが深まっていなくて、ただ作るばかりであふれているので、例えば茶うどんをどのように全国に広めていったら良いのかという方法を研究しあう「グルメ研究会」を公民館がやることで、人が繋がっていくし、まちづくりに繋がっ</p>

	ていくんじゃないかというところで、コンテストに限らず、プラスした方法を考える研究会というのをやってみてはどうかというものです。
委員	質問なんですが、地域力の向上というのは50周年記念事業の位置づけの中で、特定の日に2つの座談会をやりましょうという事を提案しているのでは無いということですね。2つ目は座談会で、1番目は座談会もやった上で、委員が言った事を繋げて行って下さいということを書いているんですか。
委員	開催とか開催の仕方というのは実行委員にお任せをしようと思っていて、やり方は沢山あるかなと思います。1回きりで終わりにすると子ども達の声が聞けないと思うので複数回数必要かなとか、あと研究会も1回限りでは終わらないですし、細かいところはどんどん皆さんに広げてお願いしたいところです。こんな事が出来たら良いなという希望をさせてもらっています。細かいところは実行委員会ですつめて行けたら良いなと思っています。
委員	では、次に進めます。 3番公民館を支えてきた人々～座談会とその記録～ 開館30周年記念誌に掲載後、市民グループ「はじめの一步」が東大和市の社会教育における先人の活動の記録を引き継いできました。平成26年度からは中央公民館の共催で行っている。これまで東大和市の社会教育、とりわけ公民館活動を推進してきた方々に集っていただき「座談会」を開催する。公民館の今までとこれからの活動についての展望などと市民がこれまで以上に活用できる公民館となるための方策等について話し合い、その記録を記念誌に掲載する。 30周年以降「はじめの一步」というグループが、これまで公民館を支えてきた人々と座談会を開いて記録をしてきました。その記録を50周年の記念誌に載せるということで事業が進んでいます。 4番記念誌 記念誌は公民館の活動記録であると共に、東大和市社会教育史年表など、過去、現在、未来を知り、考える時の貴重な資料であり、必要不可欠な記念事業の1つであると考えます。(1) 記念誌はA4版とし、写真、イラストをちりばめ、頁数は可能な限り縮小し、字を大きく、読みやすくシンプルにしたい。大事な部分だけを載せたいという思いがあります。 (2) 記念誌の内容は50周年記念事業の様子、40周年からの10年間の活動内容を中心にまとめる。これは、40周年のスタイル、考え方と一緒に。さらに付表として40周年の教育史年表に加えて、この10年間の記録を付け加えること。(3) 今後の活動の足がかりとなるよう市民、職員、公民館関係者の論文やエッセイ、「社会教育と人シリーズ」(座談会の記録)等、可能な限り掲載すること。(4) 発行時期は周年事業が終わった後、即発行にとりかかること。(5) 公民館や図書館(都公連加盟自治体等)で市民が自由に閲覧できるようにすること。これまでは書いていなかったんですけど、50周年記念誌を市民の方が手軽に見られるようにして下さい、どこかに納めてしまっていて分からなくならないようにして下さいという願いを(5)に付け加えています。 4番について質問ありましたらお願い致します。 (質疑なし) では、5番にまいります。 5 PRビデオ 5分間程度で公民館の魅力を伝えることのできるプロモーションビデオを作成し、市のホームページをはじめ、各公民館まつりでのオープニングや市役所のテレビ等で流し、多くの市民の皆さんへ公民館の魅力をアピールできるものが望ましいと考えます。作成については、プロモーション映像作成に精通した市民の方や製作会社に依頼することも視野に入れ、市民のアイデアを大切に、完成度の高いものとするのが望ましいと考えます。 6番リーフレット 国立市が作成したような、持ち歩きのできるポケットサイズで、公民館の場所や開館時間、活動内容や利用方法などをすぐに確認

	<p>できる形が望ましいと考えます。また、内容はイラストや写真を盛り込み、小学生から高齢者まで、どの世代の方でも読みやすいような配慮（ルビ付き版や英語版等）が必要であると考えます。</p> <p>5番6番について質問のある方お願いします。</p>
委員	<p>PRビデオは市のホームページから見られるようにすることは考えているんですか。ユーチューブとかもありましたよね。</p>
委員	<p>市のユーチューブをたまにみるんですが、とても良い感じで放映されてるなと思うんですけど、どなたが作っているんでしょうか。</p>
委員	<p>どこが作ったかはわからないんですけど、JCOMの方が変電所のことを聞いて、元職員の後藤さんが答えているのを見たことがあります。3分か5分位のスポット的なものですが、外部に委託してるような感じですよ。</p>
委員	<p>プロっぽい感じだったので、もし職員の方がいるのであれば公民館の事とか一緒に出来ればなと思ったんですけど。</p>
委員	<p>この答申を書いたのは、前に見せていただいた国立のプロの方が作った5分位の映像をイメージしました。公民館に行きたくなるようなイメージできれいな映像です。市民の方で安価にやったださる方がいたら嬉しいですね。</p>
委員	<p>自治会の50周年が来年の3月にあるのでプロジェクト委員会をやっています。記念誌と15分から20分位のプロモーションビデオを制作会社に頼むと費用がかかるだろうと色んな話しがでたんですけど、出席者の中にプロの方がいまして費用を抑えて作ろうとしています。</p> <p>このPRビデオは、50周年の活動から閉会式までを入れた形になるんでしょうか。</p>
委員	<p>このPRビデオとこの先7番に記録映像とあるんですけど違うものです。PRビデオは短いもので公民館のイメージ重視、記録映像はあまり編集はせず、ホームビデオとかで撮ったものを、あまりお金をかけず残すという目的の違い、別のものです。</p>
委員	<p>話に出ました7番記録映像です。将来において、過去の記念事業の様子を映像で振り返ることは重要であると考えます。過去の映像記録が、公民館活動の様子を生き活きと伝えており、現在の重要な資料となっていることから、映像の記録を残す事は大変有意義であると考えます。記録の手法については、予算をかけずに家庭用のビデオ等による撮影で十分であると考えます。ただし、機器の機能や記録媒体の変更にも対応できるような保存方法を使うことが望ましいと考えます。これらの記録は、あらかじめ決めた場所に保管し、公民館関係者がいつでも活用できるようにすることが大切であると考えます。</p> <p>記念事業を含めた、記録映像を保管しましょうという事です。年々機器の機能や記録媒体が変わってきていますので、移していけるようにあえてそこも入れてあります。</p> <p>ご質問はありますか。</p>
委員	<p>時代を保管していくわけですが、どんな形で進化していくか分かりませんが、3Dや4D等もっと進化していったら、今の映像が古ぼけた形になってしまうのではないかと、先端技術の取り入れとか、公的な機関が作るものだから、どんな天災がおこるかわかりませんし、しっかりと保管できるようなものにしていったほうが良いんじゃないかと考えます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。予算がいっぱいあれば新しい機器も使いながら記録をしていきたいと思いますが、そこらへんは予算との相談になるかと思います。</p> <p>他にご意見ございますか。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>Ⅲおわりに 第24期公民館運営審議会は、平成30年2月15日に中央</p>

	<p>公民館長から「東大和市民館開館50周年記念事業について」の諮問をうけました。50周年記念事業の実施に当たっては、前回と前々回の周年行事と同様に「実行委員会方式」で取り組むことが望ましいと考えます。また、この事業の実施のためには予算措置が必要です。生涯学習の拠点であり社会教育の中心的な施設である公民館活動の充実と発展のために、適切な予算執行を行っていきますので、関係方面の格段のご理解とご配慮をお願いいたします。東大和市の公民館がこれまで歩んできた実績をさらに改善充実させていくことが社会教育機関の一つとしての公民館の役割であることを改めて意識し合うことができる「開館50周年の記念事業」となることを願います。というふうに閉じてあります。</p> <p>その後は、本答申書の作成に当たっては、起草委員会を組織して作成しました。起草委員会委員5名の名前、委員会開催日第1回3月29日から第5回7月24日までの日付が入っています。</p> <p>元に戻ります、最初から全頁振り返りまして皆様から質問、ご意見がございましたらお願い致します。</p>
委員	1番の(4)に戻りますが、中央公民館まつりと日程調整を図るということで、これは隔年ですから周年行事は10年毎なので毎回かぶりますよね、前ははどうしたんでしょうか。
委員	同時開催で、中央公民館としてのステージ、展示スペースが少なくなっていました。
委員	あえて中央公民館でやらなければいけないんですかね。五館合同事業でやっているんですから。
尾又館長	まつりに影響があったのは、ステージの方で午前中に40周年の式典をやって、公民館まつりの開会の挨拶もあったのでそこが増えた、展示スペースは記念オブジェを飾ったのと、ペタペタアートを作ってもらったコーナーを作ったくらいで、そんなにまつりの展示スペースの方まで影響なかったかなと思います。40周年としての部分は大きめに増えていなかったと思います。
委員	今の話からすると同時開催にしたかったんですか？集客とか諸々を考えて。
尾又館長	同じ年度になってしまうので、ずらさずに同じ日でやったんですけど、開会式に挨拶が色々混み合ったので、その当時の中央公民館まつりの実行委員さんからすると不本意だったという印象が残っています。 <p>ここ2回くらいの中央公民館まつりの開会式は、保育園、幼稚園のお子さんたちに発表していただいたりして、とても充実した時間を作っているの、その辺今度どうお考えになるかなと気になるころではあります。</p>
委員	10年に1回ですから、50周年記念という形でしっかり区分けしてやったほうがいいんじゃないかと思います。
委員	他には全体を通していかがですか。
委員	オープニングイベントの(3)で作品展示があるんですけど、開会式の時期にやると考えたんでしょうか。秋の市民文化祭に出展するのはほとんど公民館で活動しているグループだと思うんですけど、文化祭は20日間くらいあると思うんですが、どのくらいの期間と場所を考えているんでしょうか？
委員	今の時点ではそこまで考えていません。
委員	これからつめていくんですけど、文化祭の時期に移動して秋にする方法もあるかなとも思いますし、オープニングイベントとして長く場所と期間を取れるのかとか、秋の文化祭に沢山の作品が出てきますが、大体公民館を利用しているグループが出しているとしますし、その辺一考いただけたらと思います。
委員	市民文化祭は次々と展示が変わりますのでかなりの作品の量でしょうから、それとの兼ね合いも考えていかないといけないでしょうね。
委員	10年前の記憶であれなんですけど、5館の作品展示というのは確かホール

	の後ろに利用連がまとめた展示をした記憶がありませんか。
委員	それもあるし、記念オブジェは全館で回して展示したんです。ペタペタアートは年間の展示で、中央の正面に飾ってやったと思います。そういうことも考えて全体の活動を展示する内容としたいと書きました。
委員	グループの作品を展示するとかではなくて、色々展示の発表の仕方はあると思うんですけど、10年前はそれほどスペースをとらずにやっていった、利用連の紹介という形でやりました。色んな方法があるなど、今、委員のお話を聞いて思いました。
委員	40周年の時は、40周年記念と冠をつけて普段の活動を展示した、今度の場合は開館50周年〇〇作品とか、と看板をつけて、記念で各館一緒にやっていますとアピールするのも方法ですね。 他にございますか。
委員	2ページの「学習座談会」の話がありました。中学生、高校生、青年ということで、小学生は児童館がありますので入ってこないのかなと思いますけど、公民館見ると小学校高学年の子が来て勉強したり、遊んだりしているのが見受けられますけど、小学生はここの中には該当しないということですね。
委員	公民館の動きを見ていて、公運審が遊空間をはじめた時は、中高生の居場所作りということだったと思うんですけど、ずっと続けていく中で今は小学生達を利用できる場になってきているので、あえて小学生ではない中高生達にスポットをあてた座談会にしました。
委員	真ん中にある「三多摩テーゼ」の提言にある「公民館は住民の自由なたまり場」という役割を担っている公民館を利用する市民が少ない。ここは、一般の人達を対象にした文言ですよ、その後には次世代を担う中高生や青年の居場所の事が書かれているんです、読んでいてちょっと区別がわかりにくいですかね。
委員	利用する市民のところを、中高生や青年達が少ないと変えたらわかりやすいでしょうか。
委員	その方が繋がると思います。
委員	その様なご意見、ぜひいただきたいと思います。
委員	全体としてすっきりしていると思うんですけど、最後の所の2行、社会教育機関の一つとしての公民館の役割であることを改めて意識し合うことができる「開館50周年の記念事業」と、感覚的には意識し合うのか認識し合うのか、見たときに私自身は認識かなと思って読んだので、意見としてですが、どっちにするかご検討いただけたらと思います。
委員	検討させていただきます。
委員	予算執行について書かれていますが答申の中に入れたいといけないんでしょうか。
委員	まず予算枠をお願いしますね、その予算についてはきちんと執行しますから、だからよろしくねってということなんですね。
委員	会長が言うべきことですか。あくまで公運審からの答申ですよ、諮問された事に関して答えるのが答申ですよ。予算執行の事を言うのは違うんじゃないかなと思います。
委員	意見として伺いましたので起草委員会でも検討したいと思います。 他にはいかがでしょうか。 (質疑なし)
委員	以上で審議事項は終了となります。事務局から追加事項はありますか。 本日予定した議事はすべて終了しました。閉会前に副会長からご挨拶をお願いいたします。
委員	挨拶

委員	これもちまして、第24期第10回公民館運営審議会を閉会いたします。お疲れ様でした。
----	---